

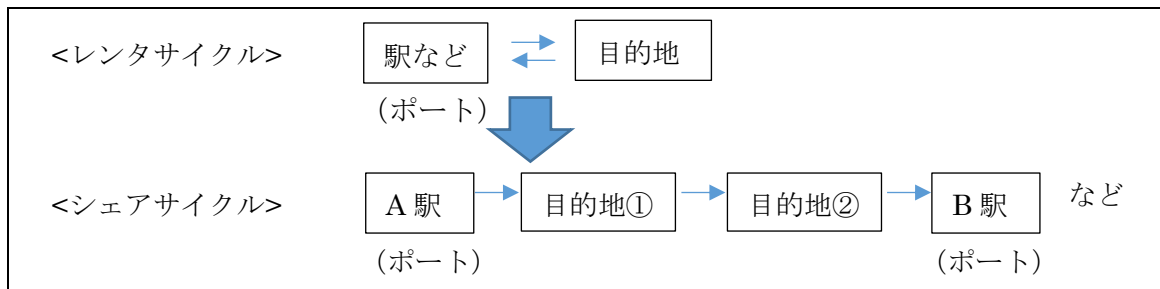
シェアサイクル事業について

1 シェアサイクルとは

① 導入のメリット

- ・交通の利便性向上
- ・移動データ取得による各施策への活用
- ・環境負荷の低減
- ・余暇(観光・レジャー・買い回り)における自転車利用の促進
- ・健康の増進
- ・災害時等の移動手段 など

② シェアサイクルによる移動イメージ



2 実施概要

- ① 位置づけ 民間事業者の運営によるシェアサイクル事業（実証実験）
市は公共施設へのサイクルポート設置を認める一方、事業者は一切の費用を負担する提案（事業者と協定を締結）
- ② 実施(実証)期間 令和4年4月～令和7年3月
- ③ 運営事業者 OpenStreet 株式会社（立川市は当該事業の実施主体）
 - ・2016年、SoftBankの社内ベンチャー制度により事業化され、HELLO CYCLINGの名称でシェアサイクル事業を展開
 - ・全国60自治体、都内14自治体との協定締結実績
 - ・近隣では、国立市/国分寺市/小平市/八王子市において実施中
- ④ 実施概要
 - ・24時間/365日貸出、返却が可能
 - ・電動アシスト付自転車を配備
 - ・ビーコン、GPSを活用し、放置対策を徹底

3 今後の方向性

- ① 協定に基づき、実施に向けた具体的対応、事前準備（サイクルポート設置等）を行う。
- ② 同時期にシェアサイクルを開始予定の福生市との連携事業（利用促進策）を検討する。

<イメージ：国立市 シェアサイクルポート>

